

短歌

瓶かめにさす藤ふじの花ぶさみじかければ
たたみの上にとどかざりけり

まさおかしき
正岡子規

この里ここのに手まりつきつつ子供こどもらと
遊ぶはる春はる日は暮れずともよし

りようかん
良寛

かすみ立つ長はるき春はる日を子供こどもらと
手まりつきつつこの日ひくらしつ

りようかん
良寛

金色こんじきの小さき鳥とりの形して
いちよう散ちるなり夕日ゆふひのおかに

よさのあきこ
与謝野晶子

たわむれに母ははをせおいてそのあまり
軽かろきに泣なきて三歩さんぽ歩あゆまず

いしかわたくぼく
石川啄木